

# 波 紋

1991 7 第73号

## 森松(株) 沖縄社員旅行 6/7~6/11



沖縄といえば、海・サンゴ礁・バナナ・パイナップル・黒砂糖などがあります。その中でも、海が最高でした。日ざしの強い海をみていると、海水の色が

何色にも変わって目に写りともきれいでした。皆様も、沖縄に行く機会がありましたら、一度、何色あるかを数えてみて下さい。

### 「交 差 点」

沖縄社員旅行は大変楽しく又、感慨深い旅でした。私は会長と二人でひめゆりの塔、海軍司令部跡も見学する事が出来ました。

初めての沖縄訪問だったので、印象も強かった。戦争の悲惨、米国基地、観光地が共存している今日は、沖縄県人として複雑な思いで生活しているのではないだろうか。

海軍と陸軍の司令官の最後の言葉が対照的でした。海軍は、「沖縄県人は皆、一生懸命に軍に協力してくれ、共に戦ってくれた事に感謝する。後世、日本政府が県民に特別の配慮をしてくれる様、望む」と又、陸軍は、「国民も一緒に天皇の意志のもと、最後の一人まで戦うよう望む」

リーダーの考え方で、こんなにも差が出るとは恐ろしい事です。沖縄は、梅雨だというのに雨が降らず、我々が帰る日から夜間断水に入りました。新聞の天気図を見ますと、九州、長崎方面は大雨洪水注意報が出されていました。日本も広い国だと今回はつくづく感じさせられました。

横山次長の実家は長崎県諫早です。火山灰の被害が出ているとの事、雲仙岳噴火に被災された方々の御見舞に協力をお願い致します。

森 信 之

## トシ君の一方通行

私が小学生の頃に、ぜい沢な食べ物の代表的なものがバナナであった。見るだけで目がクラクラしたものだ。今バナナは振り向きさえされない。

『テレビ』という物体は近所に一台あればいい方で、大抵は町の電気屋さんの前で立ち見で賑わったものである。若の花なんて横綱がいてエライ人気だったし、力道山というプロレスラーが出た日にゃ、町中がお祭りみたいだった。病人の見舞いは卵が代表的で箱の中に糺鼓みたいな上に奇麗に並べて、いただいた方はそれはそれがありがたかったものである。世の中が段々ぜい沢になって今の若い人達にとって欲しい物は殆ど手に入り食べ物も殆ど食べれる素晴らしい日本になったけど、何かしらないけど本当に具体的に言えないけど「若い人達は恵まれてる」という事を勘違いしているような気がしてならない。機会がありましたら具体的に述べましょう。

木村 英利



## 森松クインテット

幹事さんお疲れさま

森松に入社して来月でちょうど10年となります。白髪もめっきり増え、何ともならんようになりました。

苦勞が多いからかな、とも思いますが中年になつちまったことは確かです。

先日この10年を記念して、社内旅行で沖縄へ行きましたが、大変いい思い出ができて感謝しています。また、入社当時に幹事をやった事を思い出してしまいました。

その頃はまだ20人くらいで観光バスで行きましたが、それでも大変苦勞したことを覚えています。段取り、気くばりがどれだけできるかで楽しさは決まります。

その後、何人かの人が幹事を命ぜられ、色々勉強したことを思います。

時代は変わり、今回若い人が大変盛り上げてくれ中年の出番はもうなくなつてしまった感じですが、中年になるといやらしくなり、わがままもいいたい放題申しますので、そこんとこ次の幹事さんよろしく。

来期も仕事に精を出し、また楽しい旅行がしたいと思っています。幹事は今まで以上に大変になると思いますが苦勞してみてください。皆んな悩んで大きくなった。

山口 隆弘

## 喜怒哀楽

変心

何をやっても、つまらない面白くない。自分の考え方で、みずからそうしている場合がよくあります。

仕事、趣味、習い事覚えはじめは、単調でつまらない。けれどもその時期にすっかり努力をした人だけが、楽しさを味わえる事が出来る。物事ちよつとやってみただけで、つまらない、自分には合わないと思っただけで、つまらなければ、何をしても面白はずがない。

面白くなければ、自分の考え方やり方を変えてみる事である。

大橋 康成



## 平成3年(7~12月)カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土
<b>7</b>		1	2	3	4	5	6	<b>10</b>			1	2	3	4	5
	⑦	8	9	10	11	12	⑬		⑥	7	8	9	⑩	11	⑫
	⑭	15	16	17	18	19	20		⑬	14	15	16	17	18	19
	⑳	22	23	24	25	26	㉑		㉒	21	22	23	24	25	㉓
	㉔	29	30	31				㉔	28	29	30	31			
<b>8</b>					1	2	③	<b>11</b>						1	2
	④	5	6	7	8	9	⑩		③	④	5	6	7	8	⑨
	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰		⑩	11	12	13	14	15	⑯
	⑱	19	20	21	22	23	⑳		⑱	18	19	20	21	22	㉓
	㉔	26	27	28	29	30	31	㉔	25	26	27	28	29	30	
<b>9</b>	①	2	3	4	5	6	7	<b>12</b>	①	2	3	4	5	6	7
	⑧	9	10	11	12	13	⑭		⑧	9	10	11	12	13	⑭
	⑮	⑯	17	18	19	20	21		⑮	16	17	18	19	20	21
	㉒	㉓	24	25	26	27	㉔		㉒	㉓	24	25	26	27	28
	㉔	30						㉔	㉓	㉔	㉕				

㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ は 2 日間 づつ 交替 休み

### 今月の社内行事

7月1日 F・M・S

十八時より 4 F

3日 野球

対戦相手(三京アマコ株)  
午後七時より 野並公園

5日 モリマツ・アキレス会

十七時より 4 F

11日 Y・M・S

十八時半より 4 F  
担当、下垣・高橋

12日 加藤先生来社

13日 第二土曜日休み

20日 ビア・パーティー

十八時より二十時  
本社屋上にて

22日 コンピューター

新システム稼動予定

25日 営業会議

十八時より 4 F  
担当、光田部長

26日 経営会議

十八時より 4 F

27日 第四土曜日休み

## 『慰安旅行記』

沖縄旅行の幹事を  
やらせていただきます

この度モーリンググループ沖縄旅行の幹事をやらせていただき、自分自身にとって、とても勉強になったと思います。「口頭で人に伝えるむつかしさ」いったからやってくれるだろうと、自分自身勝手に思いこんでしまい、何回青くなったことかわかりません。その都度、皆さんに協力していただき（常務ありがとうございました。）どうかこうにか迷子も出ず、ケガ・病人も出ずに無事帰ってこれることができました。

しかし、梅雨のど真中に沖縄に行く、去年の6月前半の天気調べてみたら連日雨雨々々今年もこんなだったらどうするんだよ、何もできずに・・・これはえらいこったぞ、とさっそくてる坊主を作った私でした。いざ沖縄、雨もなく青い空に入道雲、七色に光輝く東シナ海、ほのかな潮の香り……。

あとは何も問題がおきずに折るだけでした。私がおそれていた、酔っぱらって大ざわぎする人もおらず、フリーの一日はみんなまっ赤に日焼して、ビーチバレー、クルージングなどとても楽しそうに、なかには昼食がかかっているため、ムキになっている人もいました。皆思いきり、リフレッシュできたようでした。（私は、夜中に芝の上に寝ている○○君を見てしまった。）

今回、社員、パートさん、皆さんの御協力です、無事に沖縄旅行が終わったことを紙面上で、御礼申し上げます、私の幹事の挨拶とさせていただきます。

来年は、是非、幹事じゃなくて沖縄に行きたいと思えます。

加藤 雅昭

## 暮らしのエッセイ

『ネーミング』

ゴキブリは日本中、一年中いる台所の敵。ゴキブリ退治は主婦の永遠の課題といっても過言ではない。

アース製薬の『ごきぶりホイホイ』は、同タイプのゴキブリ捕獲器のシェア50%以上を占める、大ヒット商品だ。同時に『ごきぶりホイホイ』はおもしろネーミングの代表作ともいえるが、この商品名が決まっていた大きさがまたユニーク。

発売期日が迫っても商品名がなかなか決まらず、プロジェクトチームのメンバーは困りきっていた。それというのも、1000以上の候補の中から選んだ「ゴキブラー」という商品名が、他社からすでに商標登録されていることがわかり、白紙に戻ってしまったからだ。

そこで会長だった大塚正氏に相談へ。会長はちよつと考えて「ホイホイはどうかね。ホイホイ捕れて、ホイホイ売れて、ホイホイもわかる」と。

実のところ社内の評判はイマイチ。しかし、会長のアイデアだからと決定。これが広告代理店から「億の価値あり」とホメられた大当たりネーミングになったのだから、会長は名コピーライターだったといえよう。

ネーミングのプロによれば、商品名には、①明るく、②印象が強烈で、③発音しやすいことの3条件が必要だとか。

高橋 武夫

## クイズコーナー

〈問題〉

私が、買い物に行きました。  
何を買ったでしょう。交差点があつて  
左下のまるがうってある場所です。



## 編集後記

梅雨があけると、いよいよ夏本番。

夏になると、海へ山へと出掛ける事も多くなりますが、私は泳げないせいか海より山へ行く方が多いです。少し肌寒いくらいの高原は暑い街とは大違いです。すんだ空気、いろいろな種類の高山植物・・・自然がいっぱい

最近夏は山へ行つていませんが、昔、二度家族と駒ヶ根へ行った事があります。行く途中の川原でパーベキューをしたり、バスのようなロープウェイに乗ったりして、とても楽しい思い出です。また、いつか行きたいです。

今年も暑さに負けないように、この夏を乗りきりましょう。 水野 陽子

編集発行者  
森松株式会社

発行責任者  
伊 東 郁 二  
平成 3年 7月 1日  
第 7 3号